



いのちをつなぐ水と流域 地球市民フォーラム in Tokyo 2025

参加無料

[要申込] 詳細は裏面へ

2025 **2/22** 土
10:20~18:10

会場
国連大学 ウ・タント国際会議場

東京都渋谷区神宮前5丁目 53-70
JR渋谷駅徒歩10分
地下鉄表参道駅出口 B2 徒歩5分



中村 利雄
イベント学会 会長
(元愛・地球博事務総長)



福井 弘道
「水と流域」推進委員長
(中部大学副学長)



松浦 晃一郎
アドバイザー
(第8代コネスコ事務局長)

基調講演

① 10:35~11:25

「東京湾流域圏の成り立ち
：その恩恵と試練」



【講師】 ジオリブ研究所 所長
神戸大学 名誉教授

異 好幸

② 11:25~12:15

「水災害レジリエンスとサステナビリティ
-by Allによる自律分散協調社会-」



【講師】 国立研究開発法人土木研究所 水災害・
リスクマネジメント国際センター (ICHARM) センター長
東京大学 名誉教授

小池 俊雄

産官学市民連携にみる「水と流域」活動紹介 14:55~15:45

「水害と流域治水」

国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 流域減災推進室長 石田 和也

「農林水産業の流域単位での取組」

農林水産省 農村振興局 設計課 海外土地改良技術室長 鷲野 健二

「森里川海における良好な環境の造出」

環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境創造室長 鈴木 清彦

「世界自然遺産と流域圏」

屋久島環境文化財団 アドバイザー 枝松 克巳

「歴史文化首都力と流域圏」

イベント学会 副会長 福井 昌平

「メディアと流域圏：流域から地域への愛着育む」

中日新聞東京本社 (東京新聞) 代表付調査役 早川 由紀美

ポスター発表コアタイム

15:45~16:40

水・流域の取り組みを発表するポスターパネル展

① 13:25~② 15:45~ ステージでのPRタイムあり

パネルディスカッション2

16:40~17:50

「世界における流域圏の取組み」

【コーディネーター】
政策研究大学院大学 教授

廣木 謙三

【パネラー】

(公財) 琵琶湖・淀川水質保全機構 理事長、
滋賀県理事員 (琵琶湖政策・MLGs推進担当)

三和 伸彦

独立行政法人水資源機構 総務部広報課 課長補佐

川崎 忠成

国際連合地域開発センター (UNCRD)
水と災害に関するプロジェクト専門家

横田 妙子

法政大学現代福祉学部・大学院人間社会研究科 准教授
(元) 日本水フォーラムマネージャー
(現) 世界自然保護基金 (WWF) ジャパン 自然保護担当

野田 岳仁

佐々木 小枝



総 評

17:50~18:00

日本計画行政学 会長、東京科学大学 教授 村山 武彦

パネルディスカッション1

13:40~14:50

「東京湾から発想する『水と流域圏』
Well Beingへの道」

【コーディネーター】
イベント学会理事、横浜市立大学大学院 客員教授 町田 誠

【パネラー】
ミズベリングプロジェクト プロデューサー 山名 清隆

NPO樹木・環境ネットワーク協会 理事・事務局長 後藤 洋一

法政大学デザイン工学部 教授 福井 恒明

国土交通省 水管理・国土保全局 治水課
流域治水企画官 田中 里佳





持続可能な社会の構築に向けて、私たちのいのちをつなぐ水と、生活の場としての流域を見つめなおし、広く、「水と環境・水と生業・水と文化」の視点から水と暮らしの未来について考えます。本フォーラムでは、水と人の付き合い方や流域の上下流の関係に迫りながら、水と共に生きる人々が流域圏でつながる新たな「いのちの物語」を検討し、新時代に育むべき共生の知恵を模索します。そして、大阪・関西万博で国際的に提唱する100年後の人類社会の未来像を描くヒントを見出します。

当日プログラム

※出演者肩書は表面参照

10:20	【第一部】 開会挨拶 / 中村 利雄、福井 弘道
10:35	基調講演 1 「東京湾流域圏の成り立ち：その恩恵と試練」 講師 巽 好幸
11:25	基調講演 2 「水災害レジリエンスとサステナビリティ —by All による自律分散協調社会—」 講師 小池 俊雄
12:15	休憩・昼食（ポスターパネル展覧）
13:15	【第二部】 開会・祝辞 / 松浦 晃一郎
13:25	ポスター発表 PR タイム① 趣旨説明 古澤礼太
13:40	パネルディスカッション 1 「東京湾から発想する『水と流域圏』 Well Being への道」 【コーディネーター】町田 誠 【パネラー】山名清隆 後藤洋一 福井恒明 田中里佳
14:50	休憩
14:55	【第三部】 産官学市民連携にみる「水と流域」活動紹介 「水害と流域治水」 「農林水産業の流域単位での取組」 「森里川海における良好な環境の造出」 「世界自然遺産と流域圏」 「歴史文化首都力と流域圏」 「メディアと流域圏：流域から地域への愛着育む」
15:45	活動発表 1. ポスター発表 PR タイム② 2. ポスター発表コアタイム（休憩含む）
16:40	【第四部】 パネルディスカッション 2 「世界における流域圏の取組み」 【コーディネーター】廣木 謙三 【パネラー】三和伸彦 川崎忠成 横田妙子 野田 岳仁 佐々木小枝
17:50	総評・閉会挨拶 村山 武彦（18:10終了予定）

一般参加者 募集中！ 申込締切 2/10(月)

申込方法
ご参加には申込が必要となります。参加申込は **こちらから** 右の応募フォームに、お名前、メールアドレス等をご記入の上、送信してください。



ポスター発表団体受付中！

このチャンスに「あなたの水との取り組み」を広く訴求してみませんか？

水と流域に関わるさまざまな地域資源や課題を流域圏に暮らす人々が共有し、課題の解決に向けて協働できる「流域思考」による持続可能な社会づくりのきっかけづくりとして、取り組み紹介と相互交流の場を創出します。

発表テーマ

1. 水と環境：水環境、利水、治水等
 2. 水と生業：林業、農業、水産業、エネルギー等
 3. 水と文化：まちづくり、観光、伝統知の活用等
- のいずれか

発表方法

- 取り組みの内容を **A1 パネル（タテ 1 枚）** にデザイン。
 <<印刷・展示は事務局が担当>>
 既存パネル持参、複数枚展示希望などは事務局へご相談ください。
- フォーラム当日に会場に展示し、**コアタイム**には、パネル前にて来場者への**説明や交流**を実施。

※内容、応募・参加方法など詳細は **こちらから** 右の応募フォームへお進みください。



このプロジェクトは、愛・地球博（2005年日本国際博覧会）の理念継承事業として、地球産業文化研究所（GISPRI）およびイベント学会が連携して推進する3つのプロジェクトのひとつです。
①歴史文化 ・ **②水と流域** ・ **③自然遺産**

水と流域・地球市民対話フォーラムは、2022年度に開始した3年プロジェクトで下記のフォーラムを開催しています。

- 2022年度 愛知 地域フォーラム
- 2023年度 大阪 地域フォーラム
- 2024年度 東京 全国フォーラム
- 2025年度 万博会場 国際フォーラム